

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	サトウタツヤ	所属	立命館大学
研究集会等名称	文化心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 12 名（うち認定心理士 0 名） 非会員 8 名（うち認定心理士 0 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>今年度は下記の通りに研究集会をおこない、文化心理学についての議論を深めた。Jaan Valsiner 教授来日記念シンポジウムでは、個人が文化と接しながら発達していく過程において、実際にとられる選択肢 A ととられなかった選択肢群 non-A との分岐についての理論的な視点を共有した後、個々の研究例の理解と適用の方法を議論した。文化人類学から文化心理学への示唆をテーマとして取り組んだ講演研究集会では、「虫の目」のフィールドワークの手法を用いる研究をもとに、生活様式と心理的回復との関係を描き出すことについて理解を深めた。今後は「分岐」「選択肢」をキーワードにして、理論と応用の両方を構築していくことが展望される。</p> <p>1. Jaan Valsiner 教授来日記念シンポジウム：発達的変化に対する記号論的アプローチの意義と可能性</p> <p>日時：2013年9月14日（土）10:00-17:00 会場：立命館大学衣笠キャンパス 諒友館 831/832 内容：Jaan Valsiner 教授（Aalborg 大学）講演（要約通訳 滑田明暢）/ ポスター発表会/ ワークショップ：発達の分岐点と選択を考える（話題提供：小松孝至、上田敏丈、木戸彩恵 コメントーター：Jaan Valsiner）</p> <p>2. 講演研究集会：文化人類学から文化心理学への示唆</p> <p>日時：2014年3月26日（水）15:00-17:00 会場：立命館大学朱雀キャンパス 304 教室 内容：中原聖乃 先生（中京大学社会科学研究所 特任研究員）講演「マーシャル諸島被ばくコミュニティの地域再生—文化人類学から文化心理学への示唆」</p>		

2014年3月27日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 文化心理学研究会

研究会番号 _____

助成金額 ¥20,000

年月日	項目	金額
2014年3月26日	講師招聘（謝礼、交通費）	¥20,000

支出合計 ¥20,000